

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会  
愛称・スローガンの制定について（案）

1 制定目的

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガンを制定し、大会開催の気運を高める。

2 制定方法概要

募 集	方 法	一般公募とする インターネット（ながの電子申請サービス）・FAX・郵便はがき・専用応募はがき
	期 間	50日間程度
	作 品	○ 愛称：親しみやすく呼びやすい、長野県らしさあふれる言葉で表現された、長野県の国スポ・全障スポの名前・呼び名。 「〇〇国スポ・全障スポ」「国スポ・全障スポ〇〇」などのように「国スポ・全障スポ」の文字を必ず入れる。 ※「全障スポ」の略称は、今後変更される可能性あり。 【前回「やまびこ国体」「やまびこ大会」】 ○ スローガン：大会の趣旨や大会に向けた思いを印象づける言葉・キャッチコピー。 【前回「日本の屋根に手をつなぐ」「さわやかに あたたかく ひたむきに」】
	賞・賞金	○ 愛称 最優秀賞 1作品（賞状・賞金5万円） 優秀賞 3作品（賞状、賞金1万円） ○ スローガン 最優秀賞 1作品（賞状・賞金5万円） 優秀賞 3作品（賞状・賞金1万円）
周 知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター、チラシ（応募はがき付）</li> <li>・県広報番組（ラジオ）、市町村広報誌</li> <li>・インターネット（県HP）等</li> </ul>	
審 査	集 計	県準備委員会事務局で各200点程度選定
	1 次 （書面）	広報推進戦略部会員（6名）による投票により各50点程度選定
	2 次 （書面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報推進戦略部会員（6名）による順位づけにより各25点程度選定</li> <li>・広報・県民運動専門委員会委員（46名）による投票（書面）</li> </ul>
	商標調査	類似商標調査
	3 次	専門委員の投票結果を参考に、広報推進戦略部会により各5作品を選定
	最終選定	広報・県民運動専門委員会で候補案を作成（事前投票）
	決 定	<p>県準備委員会常任委員会で決定</p> <p>※ 審査の公正を確保するため、決定までは公表しない</p>

### 3 制定スケジュール予定

令和3年度	常任委員会	広報・県民運動 専門委員会	広報推進戦略部会
4月			愛称・スローガンの制定について検討（オンライン会議）
5月		「第3回広報・県民運動専門委員会（5/19）」愛称・スローガンの制定について審議	
6月	「第6回常任委員会（6/3）」愛称・スローガンの制定について決定 「第5回総会」へ報告		
7月			
8月			
9月	公募開始（募集期間：50日程度）		
10月			
11月	応募締切、選定開始（事務局で集計 各200点程度）		
12月			部会員による第1次選定（書面審査） （各200点→各50点） 部会員による第2次選定（書面審査） （各50点→各25点）
1月		委員による投票（書面）	
	類似商標の調査（事務局）		
2月			部会員による第3次選定（各25点→各5点）
3月	「常任委員会」最優秀賞1点・優秀賞3点決定	「広報・県民運動専門委員会」 最優秀賞1点・優秀賞3点選定	
令和4年度	公募型プロポーザルによるロゴデザイン制作業務委託		
	「常任委員会」「総会」で授賞式・ロゴデザイン発表		

## 先催県における大会愛称・スローガンの制定状況

開催県	宮崎県	青森県	滋賀県	佐賀県
開催年※	2026年 (令和8年)	2025年 (令和7年)	2024年 (令和6年)	2023年 (令和5年)
選定方法	公募	公募	公募	公募
募集期間	令和元年8月12日 ～令和元年9月30日	平成30年12月10日 ～平成31年1月25日	平成30年9月20日 ～平成30年11月12日	平成30年9月15日 ～平成30年10月31日
	7年前	7年前	6年前	5年前
賞金等	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1セット 30万円 愛称・スローガンはセットで募集
愛称	日本のひなた宮崎国スポ・障スポ	青の煌めきあおもり国スポ	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ	 国スポ・全障スポ
応募総数	5,451	7,147	10,601	1,254
趣旨等	—	青い空、青い海や湖、青い山並など美しく自然に恵まれた青森県で、国スポに参加するすべての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。	選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わる全ての人々が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。	名称が国民スポーツ大会に変わり、佐賀大会がスポーツ大会としての初めての本大会になります。 名前が変わるだけでなく、大会をより良いものに変えていきたいと考え、「スポーツだからできること」にスポットを当てた『新しい大会』を目指していきます。
スローガン	紡ぐ感動 神話となれ	翔ける未来へ縄文の風に乗って	湖国の感動 未来へつなぐ	新しい大会へ。 すべての人に、スポーツのチカラを。
応募総数	5,287	7,079	10,209	—
趣旨等	—	縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。	「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わる全ての人々の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。	新しく生まれ変わるスポーツ大会をイメージし、シンプルかつ率直に伝わるような形にしました。

※1年延期が決定する前の開催年

開催県	鹿児島県	栃木県	三重県	茨城県
開催年※	2020年 (令和2年)	2022年 (令和4年)	2021年 (令和3年)	2019年 (令和元年)
選定方法	公募	公募	公募	公募
募集期間	平成26年12月22日 ～平成27年2月23日	平成28年8月17日 ～平成28年9月30日	平成27年4月18日 ～平成27年5月29日	平成25年9月2日 ～平成25年10月31日
	5年前	6年前	6年前	6年前
賞金等	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円
愛称	燃ゆる感動 かがしま国体 燃ゆる感動 かがしま大会	いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会	三重とこわか国体 三重とこわか大会	いきいき茨城ゆめ国体2019 いきいき茨城ゆめ大会2019
応募総数	13,495	23,851	14,771	13,008
趣旨等	世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。 熱く、燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。	「いちご」の生産量48年連続日本一の栃木県。 「いちご国体」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。	「とこわか(常若)とは、「いつまでも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現した言葉で、県民や来訪者が活力に満ち、元気になるようにとの願いを込めています。	選手やボランティアをはじめ、両大会に参加するすべての人々に、活気にあふれ、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典のすばらしさを感じていただきたい、という願いを込めています。
スローガン	熱い鼓動 風は南から	夢を感動へ。感動を未来へ。	ときめいて人 かがやいて未来	翔べ 羽ばたけ そして未来へ
応募総数	12,820	23,995	14,030	12,101
趣旨等	熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。	アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加するすべての人に感動を与えます。 その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。	大会がきっかけとなってすべての人が夢と感動、喜びと感謝を味わい、大会後も元気な未来になるようにとの願いを込めています。	両大会に様々な形で参加することによって飛躍し、そして、未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という願いを込めています。